



初任科第 96 期 初任科だより 消防学校ニュース vol. 3

～救助訓練～

消防学校に入校して3か月が経ち、規律動作の基本となる訓練礼式が終わり、新たに救助訓練が始まりました。訓練開始の当日は、消防吏員としての憧れであるオレンジ色の救助服を纏い、全学生が期待と不安を胸に訓練に臨みました。救助訓練は、今まで以上に危険が伴い、一つのミスが命に関わる訓練内容になっており、命綱となる身体結索の重要性を改めて知ることができました。

そして訓練では、渡過ロープの展張、ロープ渡過、復旧要領などとても難しい内容に、多くの学生が苦戦を強いられていましたが、班長を中心に学生同士で声を掛け合い、新たな技術の習得に励みました。

これからも基本的な訓練が続いていくので、残りの3か月、良い雰囲気をつくらせずに教官から教示いただいた知識や技術を確実に習得した上で、安全・確実・迅速を忘れずに訓練に臨んでいきます。



～実務研修～

7月7日（月）から11日（金）までの5日間、各所属において実務研修が行われました。この研修で、現場で求められるスキルと迅速性、徹底された先輩方の安全管理意識に触れ、改めて初任科教育の重要性を再認識することができました。

初めての当直勤務では、現場の雰囲気を実際に肌で感じ、この仕事の責任感や覚悟を目の当たりにしました。出勤要請がいつかかるかわからない状況で、緊張感を保ち仕事をする大変さを感じるとともに、一瞬でも気を許すことができないと強く実感することができました。

初任科教育も折り返しを迎え、訓練もより一層現場を想定したものになってきました。学生同士で、今まで以上に声を掛け合い、訓練の士気を上げ、現場に出ても恥じる事の無いよう技術の習得に励んでいきたいと思えます。

発行日：令和7年7月30日

発行元：静岡県消防学校

制作：静岡県消防学校 初任科第96期 文化委員

真野 みなみ（静岡） 太田 唯斗（浜松）

古瀬 拓（駿東）